

令和8年1月16日回答

項目番号	関連する資料			質問	回答
	資料番号	資料名	該当箇所		
1	資料1	公募要項	2 参加資格	現時点で北区での競争入札参加資格を持っていないが、救済措置はあるか	複数社から同様の質問を受けていますため、現在、対応を検討しています。 決定次第、あらためて回答書に記載いたします。 (なお、参加をご検討されている場合は、至急、東京電子自治体共同運営電子調達サービスにて入札参加資格取得の手続をお願いいたします。) (2025/01/16更新) 今回のプロポーザルの趣旨に照らし、広く募集する観点から、下記の対応とします。 提案書等受付締め切り（令和8年1月26日（月））には、申請中であることの分かるもの（画面ハードコピー等）添付。 なお、契約時に当該資格は必須です。参加をご検討されている場合は、至急、東京電子自治体共同運営電子調達サービスにて入札参加資格取得の手続をお願いいたします。
2	資料1 別紙1	公募要項 仕様書	1 業務の概要 2 業務目的	DX推進アドバイザーの「司令塔」として求められる専門的知見や経験の具体例について	DX推進アドバイザーは、CIO補佐官と連携し、国の提唱するCAIO（AI統括責任者）の補佐役を担うことを想定しています。 AI活用に向けた専門的知見を有し、AIガバナンス構築や実践に関する提案・助言・支援ができる求めています。 AIという新しい分野のため、具体的な経験例は示しうるうと考えますので、AI導入やDX推進の実務経験の自己アピールをお願いします。
3	資料3 別紙2	様式一覧 特記事項	様式6、7	再委託について、弊社の仕組み上、複数の会社が参画しているため、基本的にすべて再委託となり、管理と責任は弊社が担う形態となる 上記を踏まえ、再委託先としての実績を書いてもよいか	やむを得ず再委託をする場合は、業務着手前に【別紙2】東京都北区個人情報その他の情報資産を取り扱う契約の特記事項第2項第1号～第3号に掲げる書類を発注者に申請し、承諾を受けてください。 再委託であることを併記して、実績の記載をお願いいたします。
4	別紙1	仕様書	5 業務委託内容	AI・DXリテラシー向上研修の具体的な内容や実施方法について	仕様書では、北区職員向けのAI・DXリテラシー向上研修を年2回実施し、その内容を動画に収めて納品することを求めています。 この2回の研修は、それぞれ、管理職対象、DX推進員対象を想定しています。 集合形式で開催した場合、受講不可能な対象者にこの動画を活用する想定です。これは、限定公開を想定していますので、作成者の許可なく広く公開することは考えておりません。 研修内容や動画フォーマット、納品形式は、区と協議のうえ決定することを想定しています。
5	別紙1	仕様書	5 業務委託内容	AIガバナンスに関するルール策定の進め方や、既存ルールとの関係について	AIガバナンスの確保に関しては、職員のAI利活用ルールやAI特有のリスクケースへの対応ルールの策定・更新、利用状況の把握とリスク管理の徹底が求められています。 生成AI利活用ガイドラインについては、総務省から提示を受けたばかりであり、今後、北区の実態に合わせてフィッティングする際に助言等を頂く想定です。
6	別紙1	仕様書	5 業務委託内容	CIO補佐官との連携方法や頻度について	CIO補佐官との連携は、DX推進アドバイザー業務の中心的な役割です。 月1回以上の打合せ（原則、毎月第2火曜日に来庁し対面で実施）にて、業務の方針や進捗状況の報告を行うことを求めています。
7	別紙1	仕様書	5 業務委託内容	AI・DX相談対応の具体的なフローヤ、相談件数の想定について	所管課からのAI・DX相談に対しては、技術的・専門的観点から機動的に支援・助言を行うことを求めています。 相談の受付から対応までのセッティングは当方が行い、事前送付した資料と当日の説明によりご助言頂く想定です。事案により、複数回に渡ることも想定されます。（参考：R06～R07/11まで、延べ相談件数 28）
8	別紙1	仕様書	5 業務委託内容	業務実施スケジュールの柔軟性や変更手続きについて	月4回の打合せ（第2火曜日の来庁含む）日程については、会場確保等の観点から、事前に定めて実施する意向です。 双方の事情による変更については、都度協議し決定することを想定しています。
9	別紙1	仕様書	2 業務目的	「DX推進アドバイザー業務は、北区の自治体情報ネットワークの全体最適化とセキュリティ確保等を所管するCIO補佐官との連携のもと」の「連携」という箇所について、CIO補佐官との役割分担をどのように想定しているか（例えば、PMの役割をCIOが担い、アドバイザー採択者がCIOのもとで各作業を行うなど）	仕様書の項目5に記載のとおり、CIO補佐官は、北区の自治体情報ネットワークとセキュリティ等を司り、DX推進アドバイザーは、北区のAI徹底活用の実践、ガバナンス構築の司令塔です。 自治体ネットワーク、システム及び情報セキュリティ等全体の健全性確保の観点から、両者が月1回の打合せを通じて課題の共有、解決策の検討を行い、CIOに必要な進言を行うことを想定しています。
10	資料1	公募要項	2 参加資格	これから競争入札参加資格を申請する場合、再委託先の会社を利用者として申請するのか	入札参加資格は本業務委託を受注する事業者を利用者として申請してください。なお、再委託先の事業者の取り扱いは、項目3番のとおりです。
11	別紙1	仕様書	5 業務委託内容	AI・DXリテラシー向上に向けた研修動画の設計にあたり、以下3点について 1)北区職員のAI・DXリテラシーに係る到達目標 2)1回あたりの研修時間 3)研修対象のAI・DX製品	1)北区職員のAI・DXリテラシーに係る到達目標は、職員が機動的にAI、デジタルツールの効果的な利活用を実現することを目指します。具体的なKPIや測定方法は研修内容に応じて異なるため、当方と受注者で協議して決定することを想定しています。 2)1回あたりの研修時間は、現時点では、1時間～2時間程度を想定しています。 3)研修対象のAI・DX製品については、研修題材として特定の製品を取り扱う場合、公募要項1項(2)業務目的に掲げる北区において導入したシステム及び導入を検討している製品を想定しています。ただし、研修内容・題材は発注者(北区)と受注者において協議して決定することとします。
12	別紙1	仕様書	5 業務委託内容	AI・DX相談の設計にあたり、以下3点について 1)所管課との打合せ・協議は、項目7 業務実施スケジュールに定められている「月4回」の回数に含まれる想定か、または、所管課からの相談の都度、打合せ・協議を行う想定か 2)所管課からの相談の都度、打合せ・協議を行う場合、年間の相談件数は何件程度か 3)所管課からの相談は、誰がどのように収集する想定か	1)所管課との打合せ・協議は、「月4回」の回数に含みます。 2)所管課からの相談の実績値は、項目7番に示しています。 なお、最大では、以下の想定です。 1件の相談時間：1時間 1回の相談件数：3件 1年の相談件数：144件（3件×4週×12か月） 3)項目7番に示すとおり、当方が庁内各課に募集を行い、収集する想定ですが、提案を妨げるものではありません。
13	様式2	事業者概要	年度別実績	令和2・3・4年度の実績値を記載する様式となっているが、令和4・5・6年度（直近3年度）の誤りではないか。	令和4・5・6年度の誤りです。大変申し訳ございません。 1月16日のホームページ更新時に様式2のデータを正しいものに差し替えていました。修正後の様式にて書類を作成するようお願いいたします。

※同趣旨・意図の質問はまとめてあります。